

## DV被害者支援及びシェルター運営事業

- ① 電話相談450件、面接相談148件、同行支援127件実施した。内部研修を実施し支援の充実を図った。
- ② 国の寄り添いホットラインに参加。月2回～3回、DV・性暴力相談を担当し、合計503件。
- ③ シェルターに年間14組、大人14人、子ども11人を保護した。本年度は委託の件数が1件、委託以外の保護件数が13件であり、利用日数の総計としては221日と前年度の約半分になった。シェルター開設(2004年)以来、保護件数328件、大人336人、子ども388人、委託199件、委託外127件となった。  
利用日数4759日。委託は減少しているが、14組の利用があること、相談件数が全国で10万件を越している状況で、まだまだ民間シェルターの必要性はあると考えている。他府県からの利用も4件あった。
- ④ 県の委託である心のサポート事業として、利用者への心のケアや同行支援、保育、学習支援を実施した。
- ⑤ 神戸市の委託事業でDV被害者支援者養成講座開催 参加者26人。
- ⑥ 兵庫県の委託事業としてDV被害者自立支援講座、参加17人、DV被害者支援ボランティア養成講座参加25人、DV防止出前講座 参加 42人、を開催できた。今年度も企業向DV啓発講座を開催し、近畿労金の神戸支店、コープこうべ生活文化センターと協同学苑(三木市)で職員対象に実施することができた。社会人、特に男性への理解や支援の輪が広がった。

## DV・デートDV防止教育事業

- ① デートDV防止授業は今年度、県内の大学等での授業は16校となった。また、学校独自の実施は高校2校、中学校2校に留まった。ただ、神戸市、明石市、宝塚市、たつの市、三木市、赤穂市、多可町では地元自治体の費用負担により高校では12校で実施できた。中学校においても神戸市、明石市、宝塚市、西宮市、高砂市、加東市、西脇市、小野市の自治体の費用負担により、35校で実施できた。全体では、他府県(大阪、滋賀、京都)あわせて、15,217人に実施し、デートDV防止授業を始めた2007年度から220,000人を超えた。
- ② 県の委託事業で企業向けDV防止啓発講座「DVと子どもへの影響」～対等なパートナーシップを築こうを実施。12月は近畿労金神戸支店の職員に実施、参加者31名。1月には三木市にあるコープこうべの協働学苑にて職員を対象に実施11名が参加、2月にはコープこうべ生活文化センターで職員対象に実施し、16名が参加。「DVは個人の問題ではなく、被害者が属する会社にあっても経済的損失につながるとの意識をもつべきだ」等の感想を頂けた。3月には連合兵庫の女性メンバーを対象にDV防止研修を実施し、10名が参加。地域社会に支援の輪を広げるためにも非常によかった。今後も地域に研修を広げていきたい。

## DV被害者生活再建事業

### 1、WACCAの運営—女性やシングルマザーと子どもたちの居場所運営事業

- ① 女性やシングルマザーと子どもたちの居場所として、立ち上げたWACCAは6年目を迎え、開設当初より、参加者も多くなり事業の数も増加した。その結果のべ4500人を超える方たちがWACCAに来られた。

- ② NHK のハートネット TV 「平成がのこした宿題5 子どもの貧困～連鎖をどう食いとめるか」 (初回放送 2019年2月5日(火)20:00～20:30)に取り上げられ、取材を受けた。
- ③ アイロン掛けなどの就労準備支援は、少人数ながら週3回午前中実施した。延べ参加者数は129名であった。フリー・ヘルプとの協働事業ではWACCAの利用者の中から就労希望者に向けて採用の道を探り、今年度3名が就労にむけて通っている。ミニ講座やフリースペースなどの参加者は述べ373名であった。
- ④ 子どもたちの学習支援は、WACCA塾として、小学1年生から中学3年生まで毎週火水金の週3日144回5時から8時半まで実施した。現在、小学生11人、中学生24人が登録している。小学生792名 中学生1352名、延べ参加生徒数は2144名にものぼる。ボランティア延べ1172名の協力を頂いた。3月の受験時には9名の受験生が高校受験に挑み、全員が合格し高校への入学を果たした。3月卒業時には卒業生のお祝い会も実施。同時に卒業前の性教育なども行った。
- また子どもたちとシングルマザーの体験事業として、親子クッキング、など様々な事業を実施した。
- 特に、8月の行われた1泊夏合宿では、日頃親子では体験できない自然のふれあいや、遊びなどを実施した。
- また母親にとっては夜遅くまでゆっくり語り合う等、大変好評であった。
- それらの事業は第2回子ども未来応援ネットワーク事業として採択され実施することができた。
- ⑤ 女性の学習支援の場「WACCAスクール」は継続して実施した。高卒認定を取るための学習や、定時制高校に通う女性の学習支援、資格を取るための学習相談の場として実施した。2名が資格取得に合格。また以前高卒認定資格取得のため来られていたシングルマザーが専門学校への入学を果たしたと報告があった。就職や進学で、次の一步を踏み出すことになった。
- ⑥ シングルマザーカフェは月1回第4日曜に実施した。この会を通して女性たちが孤立感を解消し、信頼できる仲間を得ることは、生活再建に向けて非常に効果的である。特別なイベントとして、10月には地元の商店街の協力も得て英語でハロウィン、12月はクリスマス会、を開催。大人85名 子ども81名 ボランティア6日8名が参加し、母子ともにたくさんの笑顔が見られた。
- ⑦ 女性のための相談事業として、毎月2回女性相談、毎月1回キャリア相談、随時、生活相談や子育て相談を実施した。電話相談、面接相談の合計は130件
- ⑦ DV被害者の自助グループとして、月1回、コスマスの会、オリーブの会を開催。同じ経験した仲間と悲しみや怒りを共有できることが、参加者の孤立感を解消し、仲間づくりへの1歩となっている。参加50人。

## 2、家庭訪問事業 (DV被害女性自立支援活動委託事業)

神戸市の委託で、DV被害者自立支援事業として、4月～3月でDV離脱後の5世帯を月2回ずつ家庭訪問した。新たな地域で孤立しがちな単身女性や母子から、悩みを話せる人がいてとても心強いと言われた。精神的、経済的な問題について、必要があれば行政の担当者に繋ぐようにした。兵庫県も委託事業として、県内の5世帯の家庭訪問を月2回ずつ実施した。

## 3、「子ども元気ネットワーク関西」

フードバンク関西、フリーヘルプと協働で事業を立ちあげ、支援を必要とする母子家庭に毎月1回食糧支援、3か月に1回衣類の支援を行なっている。繋がりのある母子家庭26世帯を対象としている。

# 2018年度 活動計算書(報告書)

2018年04月01日～2019年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センター「WIMENS'NET・こうべ」特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取会費	
正会員受取会費	160,000
賛助会員受取会費	524,000
受取会費計	684,000
受取寄付金	
受取寄付金	8,425,585
受取寄付金計	8,425,585
受取助成金等	
受取地方公共団体補助金	2,653,260
受取地方公共団体助成金	50,000
受取民間助成金	10,027,866
受取助成金等計	12,731,126
事業収益	
相談事業収益	66,080
付添い支援事業収益	10,000
女性の自助グループ開催支援事業収益	5,500
緊急避難施設運営事業収益	3,519,000
生活再建支援事業収益(WACCA)	92,350
シングルマザー支援＆仲間づくり講座事業収益	13,900
デートDV防止出前事業収益	225,000
デートDV防止啓発授業実施事業収益	3,012,026
支援者養成講座開催事業収益	527,500
人材育成事業収益	12,240
WACCA塾事業収入	59,650
福祉医療機構事業収入	20,500
情報提供事業収益	211,946
交流会開催事業収益	142,000
事業収益計	7,917,692
その他収益	
受取利息	54
雑収益	108,420
その他収益計	108,474
経常収益合計	29,866,877
(2) 経常費用	
事業費	
【人件費】	
役員報酬	1,800,000
給料手当	6,691,294
雑給	85,750
法定福利費	439,544
【人件費計】	9,016,588
【その他費用】	
諸謝金	4,011,312
旅費交通費	4,980,092
会議費	107,473
通信運搬費	567,220
食材費	122,180
消耗備品費	162,059
消耗品費	582,300
事務用品費	28,955
新聞図書費	335,049
研修費	4,000
印刷製本費	1,423,872

# 2018年度 活動計算書(報告書)

2018年04月01日～2019年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センター「イメンズネット・こうべ」特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額
会場費	36,620
保険料	39,667
水道光熱費	363,897
支払地代家賃	3,752,760
諸会費	10,000
支払手数料	46,804
雑費	107,446
減価償却費	81,812
【その他費用計】	16,763,518
事業費計	25,780,106
管理費	
【人件費】	
役員報酬	600,000
給料手当	478,200
法定福利費	140,096
福利厚生費	150,877
【人件費計】	1,369,173
【その他費用】	
旅費交通費	181,290
会議費	8,669
交際費	10,000
通信運搬費	124,614
消耗備品費	382,400
消耗品費	122,049
事務用品費	136,335
新聞図書費	4,000
研修費	145,175
印刷製本費	54,000
保険料	42,500
水道光熱費	112,662
諸会費	68,000
支払手数料	133,836
租税公課	342,300
雑費	40,000
減価償却費	56,699
【その他費用計】	1,964,529
管理費計	3,333,702
経常費用合計	29,113,808
当期経常増減額	753,069
2.経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益合計	0
(2)経常外費用	
助成金返還損	1,565,344
経常外費用合計	1,565,344
当期経常外増減額	-1,565,344
税引前当期正味財産増減額	-812,275
法人税、住民税及び事業税	122,000
当期正味財産増減額	-934,275
前期繰越正味財産額	15,366,032
次期繰越正味財産額	14,431,757

## 2018年度 貸借対照表 (2019年3月31日現在)

NPO法人女性と子ども支援センター「イメンズネット・こうべ」 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	11,212	未払金	858,850
普通預金	11,272,156	前受金	2,423,500
未収金	4,417,110	預り金	234,730
前払金	300,000	流動負債合計	3,517,080
貸付金	203,000	固定負債	
流動資産合計	16,203,478	固定負債合計	0
固定資産		負債合計	3,517,080
建物	1,271,493	正味財産の部	
建物付属設備	281,865	前期繰越正味財産	15,366,032
什器備品	1	当期正味財産増減額	-934,275
保証金	192,000	正味財産合計	14,431,757
固定資産合計	1,745,359	負債及び正味財産合計	
資産合計	17,948,837	17,948,837	